

対象年度		令和 5年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		山川不動尊あやめ園整備事業						予算事業名		山川不動尊あやめ園整備事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	都市計画法 都市公園法				
			08	03	05	2101	経常経費						
総合計画体系	住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう							事業の区分	主要事業				
	コンパクトで魅力あるまちづくり								重点事業				
	公園・緑地の整備・充実							担当課係等	都市計画課				
							住宅公園係						
事業期間		継続 (令和 2年度～令和 8年度)											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
豊かな自然資源とふれあえる公園を整備し、自然環境の保全や希少生物の保護をすることで、希少生物の観察や繁殖等の機会を通した子どもたちの教育環境の充実を図るとともに、地域の人々が育て守っているような近隣公園を目指していく。							姉妹都市山形県長井市より寄付を受け、休耕田に定植させたのが「あやめ園」の始まりだが、長らく整備が進まず、令和2年度に都市計画課に整備が移管されたことを受け再度計画の見直しを行った。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
R2年度 山川不動尊近隣公園基本設計業務							山川不動尊地区の公園整備 子供たちの教育環境の充実						
R3年度 山川不動尊あやめ園整備検討委員会設置													
山川不動尊近隣公園整備計画（都市公園事業）策定													
R4年度 山川不動尊近隣公園整備実施設計													
R5年度 山川不動尊近隣公園整備工事（第1期）							【事業をとりまく環境の変化】 長年整備が進まなかった事業であるとともに、あやめ園の管理団体の方々も高齢化が進むなか、子どもたちの教育環境の充実や、高齢者の健康増進を図ることができる公園を整備する必要性が高まった。						
R6年度 山川不動尊近隣公園整備工事（第2期）													
R7年度 山川不動尊近隣公園瀬美工事（第3期）													
R8年度 効果促進子供たちによる動植物の保護活動													
【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】					
山川不動尊地区近隣公園整備工事 【第1期工事】				山川不動尊地区近隣公園整備工事 【第2期工事】				山川不動尊地区近隣公園整備工事 【第3期工事】					
								効果促進事業：希少生物などの放流					
■事業費													
			R03年度		R04年度								
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	16,230						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	0	14,600						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	9,308	1,641						
歳入計（千円）			9,308		32,471								
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）		金額（千円）		金額（千円）								
	10	需用費	0		10								
	12	委託料	9,308		32,461								
歳出計（千円）（A）			9,308		32,471								
伸び率（％）					248.85								
備考	総合計画 65 ページ												

令和 3年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R03年度	R04年度	R05年度
活動 指標	山川不動尊近隣公園整備	箇所	目標	1.00	1.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	市民一人当たりの公園面積	m ²	目標	10.00	10.00	0.00
			実績	7.72	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	周辺に近隣公園がないこと、少子高齢化による「あやめ園」管理の持続問題及び子供たちの楽しめる場所づくりなど、多角的に見た公園整備が必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	近隣公園は、市が整備を行う事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	他部署で20年以上計画が進まなかった公園整備を事業化したものであり、妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	インフレによる資材の高騰により工事費の増加が見込まれるとともに、今後整備するに当り、工事内容や整備事業計画を熟知している人員が必要である。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	公園整備における対象者を、子どもを含めた設定としたことにより、幅広い世代層に憩いの場を提供できる。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	自然環境保護、教育環境の充実及び高齢者の散歩コースなど、多様性のある空間が提供できる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	都市公園事業「豊かな自然資源とふれあえる公園整備」（社会資本整備総合交付金事業）の計画どおり事業は進んでいる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
社会資本整備総合交付金の事業として採択されたが、今後も整備を進めるうえで、財源の確保や職員のスキル向上が必須であるため、適正な職員配置が必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
整備事業完了後の管理方法も重要な課題であるため、今後も「山川不動尊あやめ園整備計画検討委員会」を開催し管理についても協議を進めていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ■拡充（人・モノ・カネ等の拡充） □改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置 方向性の具体的内容 交付金を活用し、令和 7 年度整備完了に向けて事業を実施していくとともに、「山川不動尊あやめ園整備計画検討委員会」にて管理運営体制についても協議を継続し進めていく。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） □拡充（人・モノ・カネ等の拡充） □改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置 企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。